

- (地名は現在名)

発行 浅口市教育委員会
 協力 浅口市寄島町アツケシソウを守る会
 お問い合わせ 浅口市教育委員会事務局 ひとづくり推進課
 ☎ (0865) 44-7055

名前の由来 ^{あつけし} ^{かき} 1891年に北海道厚岸町の牡蠣島で発見された。
アッケシソウはその町名をとり命名。

科・属 ヒユ科・アッケシソウ属

生態

- ・海水の流入する塩湿地に生育する1年草。
- ・茎は多くの枝に分かれ草丈は10～40cm。
- ・葉は肉質で、鱗片状に退化。
- ・花は夏から秋にかけて、一節に3花ずつ両側につき、各花の中央部に白い雌しべ雄しべが見られる。
- ・秋には、全体が緑から紅色に変わり、その形状から別名サンゴソウと呼称。

分布 北半球に広く分布し、日本では現在北海道・岡山県・香川県・愛媛県で生育を確認。
(浅口市寄島町は本州唯一の自生地)

大韓民国のアッケシソウとDNAが一致する。
(岡山理科大学 星野卓二教授の研究)

絶滅危惧
ランク 環境省絶滅危惧Ⅱ類
(絶滅の危険性が増大している種)



アッケシソウの保護活動



アッケシソウの1年間

